

## COOLBIZ 期間は 5 月 1 日～9 月 30 日

今年もクールビズの季節がやってきました。「冷房時の室温は 28℃」快適に過ごせるアイデアを出し合い、今年の夏も快適に乗り切りましょう。

8 月 2 日(火)～8 月 10 日(火)まで、事務部では電気使用の平準化 (ピークシフト) を図るため、お昼休みを 12:30～13:30 とする「ランチシフト」を実施します。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



### 1. グリーンカーテンの準備



窓から注ぐ夏の暑い日差しを遮るため、図書館と生協食堂の窓際に関する性植物をプランターに植えました。今年は数種のゴーヤ、朝顔、パッションフルーツ等を選びました。日々の管理や追肥を行い、成長を楽しみながら過ごしやすい環境を提供できたらと思います。

(環境ISO学生委員会)

### 2. 夏の信大Earth Caféを開催しました

6 月 6 日(月)及び6 月 20 日(月)に、環境ISO学生委員会の主催による環境に配慮した事柄を学習し実践する講座「夏の信大Earth Café」を、食と緑の科学資料館「ゆりの木」の研修室で開催しました。



浴衣の着付け講座 (6 月 6 日)

6 月 6 日(月)には、夏の涼を感じる浴衣の着付け講座を開催し、学生委員の講師から、浴衣の絵柄の種類や歴史について学習後、各自好きな浴衣を選び着付けを行いました。「頭では理解できていても、実際に着てみよう」とすると混乱してしまった。「みんなで協力して着付けができていい機会となった」「機会があれば古典柄も着てみたい」という声が聞かれました。

各自キャンドルを作製しました。キャンドルは、型を使用する作製方法もありますが、今回は溶けた蜜蝋に灯芯を浸けて、冷まして固めていくディッピングという方法により作製しました。時間をかけて年輪のように大きくなっていくキャンドルを作ることで、落ち着いた時間の流れを体験する機会になればという趣向でした。参加者からは、「普段使っているキャンドルより愛着が湧いた」「蜜蝋は初めて。思い通りには作れなかったがとてもいい機会になった」という感想をいただきました。

6 月 20 日(月)には、枯渇資源を原料としない蜜蝋キャンドルを作り、電気の代わりに灯して過ごす講座を開催しました。まず、学生委員の講師による蜜蝋に関する講義後、



蜜蝋キャンドル作り講座 (6 月 20 日)

この2講座を通じて、夏は電力に頼らずとも、快適に過ごせることを学びました。蜜蝋キャンドルに対する理解も深めることができ、非常に有意義なものになったと思います。(環境ISO学生委員会 有吉 健斗)

### 3. キャンドルナイト2016を開催しました



7月1日(金)に、農学部生協食堂で環境委員会、環境ISO学生委員会主催の環境イベント「キャンドルナイト2016」を開催しました。このイベントは東日本大震災以降継続しており、今回は6回目になります。夏の夜に電気を消して環境低負荷原料である蜜蝋を使用したキャンドルを灯して、現在抱えている環境問題、信州の恵まれた森林の保全など、それぞれに考える時間を過ごしてもらえたらと思い開催しています。

キャンドナイトで  
実行委員長を務め

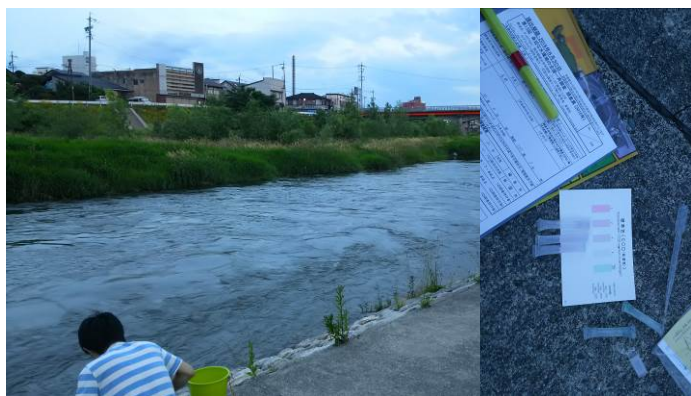
させていただき、多くの経験を得ることができました。地元商店やサークルなどとの話し合いやスケジュールの決定など、事前準備が多く、その過程で何度も変更があり、企画するには臨機応変に対応する必要があることがわかりました。

多くの皆様に協力していただき無事終了することができました。イベント後に出演者から雰囲気の良いステージで演奏できて楽しかったとっていただき、運営に携わることができてよかったなと思いました。(環境ISO学生委員会 山本 隼輔)



### 4. 身近な水環境の全国一斉調査を行いました

6月15日(水)に、天竜川の水質調査を行いました。この調査は全国水環境マップ作成委員会のもとで行われており、農学部では昨年到现在2回目の調査でした。調査の結果、COD(化学的酸素要求量)の値が3~4となり比較的きれいな水であることが確かめられました。伊那谷は天竜川の恵みを授かっているとその水がきれいでした。今回のことをきっかけに水を大切に使うことの重要性が広まればよいと思いました。



(環境ISO学生委員会副委員長 新井翔太)

### 5. 環境目安箱を設置しました

環境ISO学生委員会では、農学部の構内に環境目安箱を設置しました。構内3ヶ所(学生ラウンジ、生協、図書館)に意見や質問を記入するための記入用紙と共にこれを回収するための環境目安箱を設置し、投函された意見等は、適宜学生委員が回収して質問への回答と発信、学内環境などに関する意見への解決策の検討と実施を行います。皆様の率直なご意見を是非お聞かせください。(環境ISO学生委員会 志津野 匡人)



目安箱 (学生ラウンジ)

## 6. ゴミ分別率競争(SGK)について

毎月第3月曜日に講義棟渡り廊下, 生協入口のゴミ箱のゴミ分別率調査を行い, 同時に調査した他キャンパスとの分別率競争を行っています。

5月は, 農学部が常に1位だった工学部を抑えて分別率1位に輝きました。喜ばしい結果ではありましたが, 実情としてゴミ箱の設置場所を移動後, ゴミ排出量は増加しており, ペットボトルの飲み残しを入れたまま出されることも悩ましいところ。社会人となる前の貴重な時間に, 環境配慮への心がけの習慣を身に付けていただけたらと思います。

(環境ISO事務局)

農学部環境ISOニュースに関するご意見・ご質問・投稿記事などがございましたら

ISO事務局 : [agri-eco@shinshu-u.ac.jp](mailto:agri-eco@shinshu-u.ac.jp)へご連絡ください